



小野田中学校は、学校・家庭・地域で、子どもの成長を応援します！

小中だより 1月号

小野田中はコミュニティ・スクールです。
山陽小野田市立小野田中学校

《学校教育目標》 『地域とともに、心豊かで学び続ける生徒の育成』
《校訓》 健康明朗 清潔整頓 勤勉努力 自主自律

TEL 83-2576
FAX 83-2838

あけましておめでとうございます。2019年スタート

新しい年も9日目を迎えました。昨日の始業式では、以下のような話しをしています。

「生徒のみなさん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。」
3年生の皆さんは、あと2ヵ月後に卒業式を迎えます。1、2年生の皆さんは、あと3ヵ月で進級します。それぞれ締めくくりの3学期となります。あわせて新しい学年への準備期間でもあります。新年度に向けて準備をしていきましょう。

さて、今日は18世紀のドイツの哲学者であるカントの「人は人によりてのみ人となる」という言葉を紹介します。この3つの「人」を別な言葉に置き換えると、「人」（未熟な自分）は「人」（自分を取り巻く多くの人々）によって「人」（社会に通用する自分）になるといえます。人は人を介した教育によって人間になっていくということであり、テレビや雑誌、IT機器だけでは人間として育っていくことはできません。皆さんもテレビ等で見たことがあるかもしれませんが、馬などは母親から産み落とされたらすぐに立ち上がります。これは、敵から身を守るためです。しかし、私たち人間は1人で立ち上がるまでに、約1年間かかります。また、ライオンなどは、生後1年もすると親のやるのをまねて狩りを始め、早い時期に一人前のハンターになっていきます。

では、人間はどうでしょうか？乳児期・幼児期・児童期を経て青年期に向かいます。今の皆さんは第二次性徴期といわれ、大人への準備段階へ入っています。思春期ともいわれ、身体が急に大人らしくなっていき、物事に感じやすくなるのが特徴です。しかし、法律的にひとり立ちするのは、数年後の20歳です。その間、いろいろな人と出会い経験を重ねて成長していきます。学校の先生だけでなく、家族や友だち、地域の方々など、皆が自分に生きる力を育てくれる先生なのです。まさに、われわれ人間は、多くの人々のお世話になって一人前になっていくのです。一人で大きくなったとか、立派になったと傲慢（えらそうにして、人をみさげた行動をとる様子）にならないように戒めなければなりません。しかし、現在の情報社会では人間同士のふれあいよりも、バーチャルな社会での生活の時間が増えてきています。そのために、特に若い世代のコミュニケーション能力、言い換えれば人間関係を円滑にする能力が乏しくなってきたと言われていています。このため、集団の中でお互いうまく分かち合いながら生きていくことが難しく、悩む人も多いようです。

生活の中で、友だちと心を通わせて言葉を交わしていく。このじっくり語り合う生身の友だちとの関わりなくして、真なる人にはなり得ないと思います。これから、3学期がスタートしますが、家族や友人・地域の方々との「言葉」でふれあう場面をしっかりと増やし、自分磨きを試みてください。「人は人によりてのみ人となる」のですから！

2019年も、この小野田中学校にとって最高の飛躍の年となることを願って、話を終わります。みんなで頑張りましょう！

◎新生徒会執行部及び専門委員長

生徒会執行部				専門委員長			
会長	平岡 大知	2年4組	生活委員長	長久 晴輝	2年2組		
副会長	甲斐 千陽	2年2組	広報委員長	秀浦 凜華	2年3組		
副会長	阿波村 雛	1年3組	保健委員長	森重 ころも	2年4組		
書記	市川 滉貴	2年1組	給食委員長	中村 淳	2年1組		
書記	新田 悠真	2年3組	福祉委員長	芦沢 咲月	2年1組		
書記	関 遼大	1年3組					

小野田中学校の良き伝統を引き継ぎ、さらに発展させ、新しい流れを巻き起こしてくれるよう期待しています。

